



Press Release

2019年11月28日

ヘンケルジャパン、代表取締役社長交代について

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区)は、代表取締役社長 金井 博之(かない ひろゆき)が2019年11月30日付で退任し、後任に12月1日より取締役副社長 浅岡 聖二(あさおか せいじ)が昇格することをお知らせいたします。浅岡は引き続き接着剤部門統括本部長を兼任いたします。

新社長の経歴

氏名 浅岡 聖二(あさおか せいじ)

職歴 1988年 カネボウ・エヌエスシー(後の日本エヌエスシー)入社
2008年 ヘンケルテクノロジーズジャパン株式会社 取締役営業統括本部長就任
2009年 ヘンケルジャパン株式会社 取締役工業用接着剤事業本部長就任
2016年 同社 取締役副社長 兼 接着剤部門統括本部長就任
(工業用接着剤事業本部長を兼任)

学歴 1988年 京都大学工学部化学工学科 卒業
1992年 神戸大学大学院知能化学専攻科に所属
1994年 神戸大学大学院より工学博士号取得

なお、浅岡は、同日をもってヘンケルジャパンのグループ会社であるヘンケル エイブルスティック ジャパン株式会社 代表取締役社長に就任いたします。

金井が兼任しておりましたビューティーケア事業部門リテール事業は、後藤 秀夫がビューティーケア事業部門のトップとしてシュワルツコフ プロフェッショナル事業とリテール事業を統括しております。

ヘンケルについて

ヘンケルはバランスのよい、多角的なポートフォリオを備え、産業および一般消費者向け事業をグローバルに展開しています。優れたブランドとイノベーション、テクノロジーを誇るヘンケルは、アドヒーズテクノロジーズ(接着技術)、ビューティーケア、ランドリー&ホームケアの3分野において、グローバルリーダーとしての地位を維持しています。1876年に創立し、140年以上に及ぶ成功の歴史があるヘンケルは、ドイツのデュッセルドルフに本社を置き、世界に約53,000名の社員を擁しています。サステナビリティの分野をリードする存在として評価されるヘンケルは、多くの国際的指標やランキングでトップの地位を維持しています。2018年の売上高は200億ユーロ、営業利益はおよそ35億ユーロに上ります。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。さらなる情報はこちら www.henkel.com をご覧ください。

— 本件に関するお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美
TEL: 03-5783-1219 e-mail: hidemi.onoo@henkel.com